

惜別の調べ

言葉のない対話:その親密なるもの その2

- 東京 3月17日(土) 15:00 近江楽堂
- 名古屋 4月14日(土) 15:00 音楽スペースFiorire
- 津 4月15日(日) 15:00 Shoko-Hall (MUSEUM OF TANNOY 内)
- 大阪 4月29日(日) 15:00 アートコートギャラリー

宇田川貞夫
ヴィオラ・ダ・ガンバ

演奏家が何人か集まって
小編成の室内楽をする醍醐味
言葉のない会話
それに尽きます。

合奏の基本は「対話」です。
「問いかけ」を歌い出すものがいて
それに「頷く」ものがある、
また「展開」してみせるものがいて
それを「纏める」ものがある。
対位法の基本です。

複数の声部があっても
基本は「対話」にあります。

ここでは台本(楽譜)と
役者たちの演技
(演奏家の創意、即興)とが
火花を散らしており、
役者自身の個性と
役作りとの間には
“真実”を表すために
矛盾がないのです。

そして何よりも役者同士の間では
“敬意”が行き来しているのです。

鈴木美香

チェンバロ(名古屋公演・津公演)

鴨川華子

チェンバロ(東京公演・大阪公演)

Photo by Shigeto Imura

主催: 東京古楽集団 ☎045-852-5537/✉sadao.marais@gmail.com

- 即興演奏 M.マレー風に ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソロ
- L.クーブラン:「フローベルガー氏を模したプレリュード」 チェンバロ・ソロ
Louis Couperin (c.1626-1661): Prélude à l'imitation de Mr.Froberger
- M.マレー:組曲 ロ短調 ヴィオール曲集第3巻より ヴィオラ・ダ・ガンバ&チェンバロ
Marin Marais (1656-1728): Suites si mineur — III^{me} livre (1711)
- サント・コロムブII:父サント・コロムブを偲ぶ追悼曲 ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソロ
Ste.Colombe II (?-?): Tombeau pour Ste.Colombe le Pere
- J.J.フローベルガー:「フェルディナンド三世の悲しい死に寄せる哀歌」 チェンバロ・ソロ
Johann Jakob Froberger (1616-1667): Lamentation faite sur la mort tres douloureuse de Sa Majesté Impériale Ferdinand le troisième
- M.マレー:組曲 ニ長調 ヴィオール曲集第3巻より ヴィオラ・ダ・ガンバ&チェンバロ
Marin Marais: Suites re majeur — III^{me} livre (1711)

* * * * *

宇田川貞夫 Sadao Udagawa | viola da gamba

横浜生れ。ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成氏に師事。1974年、ベルギー・ブリュッセル王立音楽院に留学。ヴィオラ・ダ・ガンバをW.クイケン、室内楽をP.ドンブレイトの両氏に師事。同音楽院に在学中、Ch.ケーニヒ氏の主催する「アンサンブル・ポリフォニー」のメンバーとして、ヨーロッパ各地でコンサート、テレビ、ラジオ等に出演。1978年同音楽院をディプロマを得て卒業。帰国後は、「バッハのガンバソナタ全曲演奏会」等のリサイタルを始め、「バツン・コンティスオのリサイタル」、「みなとよこはま・バロックシリーズ」、名古屋「アーベント・ムジーク」等のシリーズ演奏会を企画するなど、各地で多彩な演奏活動を展開している。1986年より、「都留音楽祭」を企画制作。1997年より2004年まで「札幌古楽の夏音楽祭」を主催し、音楽監督に就任。近年は、指揮者としての活動も始めており、1991年、バッハ短調ミサ、モーツァルトピアノ協奏曲を指揮。以来ルネッサンスから古典派までの作品に意欲的に取り組んでいる。また声楽指導者としての評価も高く、優れた若手声楽家を育てている。「語感と音感」というコンセプトによりバロック初期のモンテヴェルディから山田耕筰まで、幅広い視野を持って取り組んでいる。3年前から自身声楽家としてデビューし、全国12箇所リサイタルツアーを開催、高い評価を得た。2008年1月、津市文化振興事業「郷土シリーズ」でフォーレのレクイエムを指揮、その演奏水準の高さに絶賛が寄せられた。また1995年よりセシル・レコードを発足させ、プロデューサーとして、優れた内容のCDを制作している。現在、東京古楽集団主宰、東京モンテヴェルディ合唱団指揮者、セシル・レコード・プロデューサー。
<http://udagawasadao.com/>

鴨川華子 Hanako Kamogawa | cembalo

東京音楽大学ピアノ科を経て同大学研究科チェンバロ専攻修了。ピアノを故下村和子、武田真理、チェンバロと室内楽を渡邊順生、宇田川貞夫の各氏に師事。第9回古楽コンクール(山梨)・チェンバロ部門において最高位受賞。第7回栃木蔵の街音楽祭受賞。ブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門においてディプロマ受賞。東京・千葉を中心にソロ、アンサンブルにて活動中。
<http://www.asahi-net.or.jp/~ds8t-mr/index.html>

鈴木美香 Mika Suzuki | cembalo

名古屋音楽大学卒業。在学中よりチェンバロを始め、故及川真理子、有田千代子、宇田川貞夫の各氏に師事。1992年インスブルック国際サマーアカデミーにてヨハン・ゾンライトナー氏のマスタークラス修了。大同特殊鋼名演奏家シリーズ1994でN響室内合奏団とチェンバロ協奏曲を共演。1995年ワルシャワ・ソロイストと共演。ザ・コンサートホール・アンコール'99に出演。名古屋市民芸術祭2003に参加、J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」を演奏し好評を博す。2006年、女性4人の古楽アンサンブル「クロシェット」を結成。2007年度大阪国際音楽コンクール「アンサンブル部門」入賞。「東海バロックプロジェクト」代表。愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師。名古屋バロック音楽協会会員。

バロック時代の優雅な楽器

ヴィオラ・ダ・ガンバとクラヴサン (チェンバロ)

バロック時代の宮廷文化の中にあつて、特に貴族たちに愛された楽器がヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロであると言えます。貴族のご婦人たちがヴィオラ・ダ・ガンバやチェンバロを演奏する姿はもともと優雅で、多くの宮廷肖像画家(ヴェルサイユのナッティエなど)によって描かれている絵画にこの2つの楽器が多く描かれていることから理解できます。ヴィオラ・ダ・ガンバの音色は「人の声」にもっとも近いとされまし、チェンバロは時代の趣味を最も正確に表す楽器とされています。

ヴェルサイユの宮廷ではこの2つの楽器が特に好まれ、多くの演奏家と彼らの作曲した膨大な数の作品が残されています。その代表的な演奏家(作曲家)がマラン・マレーとクーブラン一族でありました。

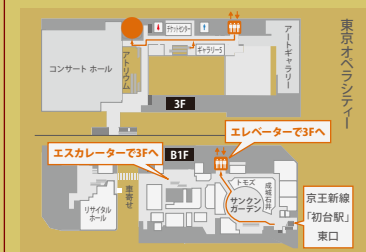
マラン・マレーは当時ヨーロッパ中で最も有名なヴィオラ・ダ・ガンバの名手でルイ14世、摂政時代、ルイ15世に仕え、その演奏は「天使のようだった」と伝えられています。またルイ・クーブランはヴェルサイユの宮廷でクラヴサンの名手であり、音楽家としては最も位の高い地位にありました。J・S・バッハが多くの音楽家を輩出したバッハ家の代表であったように、ルイ・クーブランは大クーブラン家の筆頭でした。

対話、その親密なるもの

16世紀の末、シェイクスピアの活躍していたころのイギリスでは、音楽に造詣の深い貴族の中では、“Chest of Viols”すなわち、トレブル・ガンバ、テナー・ガンバ、バス・ガンバをそれぞれ2台、合計6台の美しく象嵌が施されたヴィオラ・ダ・ガンバを所有することが、最も嗜み深いこととされておりました。夕方、その館に数人の貴族が集まり、見開くとそれぞれのパート譜を、四方から覗いて演奏できる楽譜をテーブルの上に置き、音も匂いもしない高級な蠟燭をふんだんに使い、ジョン・ダウランドなどの作曲したヴァイオル・コンソートを演奏(言葉を必要としない最も“高級”な会話)を楽しみ、挨拶だけ交わして帰ってゆく。こんな楽しみがあったそうです。

■東京 3月17日(土) 15:00

近江楽堂
新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティ3階
前売¥4,000/当日¥4,500
問 東京古楽集団 ☎045-852-5537
✉sadao.marais@gmail.com



■名古屋 4月14日(土) 15:00

音楽スペースFiorire
名古屋市中村区鳥居西通1-51
アンジュパティオ中村公園801号
前売¥4,000/当日¥4,500
問 東京古楽集団 ☎045-852-5537
✉sadao.marais@gmail.com
鈴木 ☎090-8470-4029



■津 4月15日(日) 15:00

Shoko-Hall
三重県津市白山町伊勢見150-195
MUSEUM OF TANNOY 内
前売¥4,000/当日¥4,500
問 東京古楽集団 ☎045-852-5537
✉sadao.marais@gmail.com
松橋 ☎ken@forest-energy.com



■大阪 4月29日(日) 15:00

アートコートギャラリー
大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1階
(OAPアートコートクラジックス Opus28として開催)
前売/当日共¥3,500
問 ワンレコード ☎06-4253-1230
✉concert@artcourtgallery.com
東京古楽集団 ☎045-852-5537
✉sadao.marais@gmail.com

